

# ひゃくちやん通信

第15号

平成28年 霜月

T421-1221  
東海フーズ株式会社  
静岡市葵区牧ヶ谷2037  
054-277-1667代

今年も、残すところ二カ月弱となりました。

月日のたつのは本当に早いと思えます。

皆様お元気でお過ごしでしょうか。さて毎年、年末期御活用頂いている「干支あめ」のみ切りが11月末日とせまっています。

大半はいつも八月迄に御予約頂き「干支あめ」は製造するのですが(早)お客様は二月には「ご予約頂きませす」お客様によっては数量決定が十一月迄決まらない方もおられます。

そうした皆様方の為にみ切りを十一月末日とさせて頂いておりませんがそれでも十一月に入ってからご注文のある皆様もおられますので毎年余分目に製造するのですが昨年は十一月末日のみ切りと同時に完売となつてしまいました。十二月に入ってからご注文を頂いた皆様は「何故毎年あるのに今年はないのか?!!」とのお声を頂きましたが例年通り余分目に製造したにもかかわらず完売となつてしまったので「要望にはお答えできませんでした。」

「干支あめ」は年末年始の限定品で

すので製造も限定し作りますので、「ご予約はお早目にして数量確保をして頂いた方がベター」と思っていますのでご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、以前にもご案内した、京都府の私共のお客様から毎月頂くご自分で作成されている情報誌の中から拝読させて頂いたととてもイイお話です。

悲しいくらい出来事なのに何故か生きる勇気をもらえるお話と思いました。

「涙のお味噌汁」  
6歳の娘がクリスマス前の数日前から欲しいものを手紙に書いて窓際に置いておいたから、早速何が欲しいのかなあと夫とキティちゃんの便箋を破らないようにして手紙を覗いてみたら、「こう書いてあった。」



「サンタさんへ おとうさんのガンがなおるくすりください! おねがいします」

夫と顔を見合わせて苦笑いしたけれど、私だんだん悲しくなつて少

しメンメンしちゃった。

昨日の夜、娘が眠ったあと、夫は娘が好きなお菓子ブリキアのキャラクター人形と「ガンがなおるくすり」と普通の粉薬の袋に書いたものを置いておいた。

朝、娘が起きるとブリキアの人形もだけれど、それ以上に薬を喜んで「キヤーッ!」って嬉しい叫びを上げていた。

早速朝食を食べる夫の元にどたばたと行って

「ねえ! サンタさんからお父さんのガンが治る薬買ったの!早く飲んでみて!」

「さあ、夫に薬を飲ませた。」

夫が「お!体の調子が、だんだんと良くなってきたみたいだ」と言う

と娘が、

「ああ! 良かった。これでお父さんとまた、山にハイキングに行ったり、動物園に行ったり、運動会に参加したりできるね!」……っていつと、

夫がだんだんと顔を悲しく歪めて、それから声を押し殺すようにして「くっ、くっ、くっ」って泣き始めた。

私も貰い泣きしそうになつたけれど、どなるとか泣かないように鍋の味噌汁をオタマで掬って無理やり飲み込んで態勢を整えた。

夫は娘には「薬の効き目で涙が出てるんだ」と言い訳をした。

その後、娘は近所の子の家にブリ

キアの人形を持って遊びに行った後、夫が

「来年はお前がサンタさんだな……。しっかり頼むぞ」と言ったので、つい私の涙腺が緩んで、わあわあ泣き続けた。お味の味噌汁に涙がいくつも混ざった。

今年の「ひゃくちやん通信」は今回が最後となります。

皆様方これから二年で「一番大切な」年末年始の商戦「が控えています。」

毎年の事ですが「招き猫」となりまして少しでも「販売のお役に立てれば」と思います。

今年も一年大変お世話になりました。来年も宜しくお願い申し上げますニヤン!



来年につづく

年末年始のおすすめ品

たらふくまんま。ギフト商品

お茶で煮込んだ佃煮は専門店の皆様方の贈答品としてギフト期のなくてはならない商品に迄育てて頂きました。

